

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開

研究課題名	急性散在性脳脊髄炎の病変と治療・予後に関する研究
所属科	神経科
研究責任者	浜野晋一郎
研究期間	2015年4月1日～2020年3月31日
	<p>急性散在性脳脊髄炎は15歳以下の小児に好発し、炎症や脱髄が原因と推定され、急性～亜急性に発症する疾患である。脳症症状を含む多彩な臨床症状を呈し、神経画像では多巣性の白質病変を認めることが多く、予後は良好とされる。病初期に脳症症状が軽度のため診断に時間を要する例、第一選択であるステロイドパルス療法が無効な例がある。現状ではステロイドパルス療法以外の治療法の有効性は十分に評価されていない。</p> <p>本研究の目的は、本疾患の患者背景や臨床所見、検査所見などの把握と有効な治療法の確立のため、現状の治療方法とそれらに対する有効性を評価することである。</p> <p>当センターで急性散在性脳脊髄炎と診断した症例に対し、患者背景、治療経過（検査所見、原因、治療等）、予後を診療録から抽出する。本研究では臨床情報には姓名、生年月日、患者IDなどの個人情報は一切含まれない。急性散在性脳脊髄炎と診断された症例の臨床情報を後方視的に収集するため、患者への新たな介入は一切行わない。集積されたデータをもとに病変部位や治療、検査結果と神経学的予後の相違の有無を検討する。患者および家族は、研究に参加することを断る権利を有し、断ったことによる不利益は一切存在しない。</p>
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について	本研究では個人を特定できるような情報収集は行わないため、個人が社会的危険に暴露される可能性はない。本研究は当院倫理委員会の承認をすでに得ている。
研究の問合せ先	埼玉県立小児医療センター内研究責任者：浜野 晋一郎 埼玉県立小児医療センター 神経科 〒339-8551 埼玉県さいたま市岩槻区馬込 2100 番地 TEL: 048-758-1811
結果の公表について	個人情報を消去した上で、集計されたデータのみを国内外の学術集会・学術雑誌などで公表する。
利益相反について	本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反はない。